

教科書・教材・ソフトウェアの在り方ワーキンググループについて

令和4年2月7日
個別最適な学びと協働的な
学びの一体的な充実に
向けた学校教育の在り方
に関する特別部会決定

1. 設置の目的

『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』（令和3年1月中央教育審議会答申）を受けて、デジタル化などの社会変化が進む次世代の学校教育の在り方について検討するため、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会」（以下「特別部会」という。）が設置された。

ICTは学校において個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、全ての子供たちの可能性を引き出す教育を実現するために不可欠のものであるところ、GIGAスクール構想に基づくICT環境の整備と活用を進める中で、教科書・教材のデジタル化を推進するとともに、既存の教科書・教材等との関係を整理し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実することが求められている。

このため、特別部会の下に、「教科書・教材・ソフトウェアの在り方ワーキンググループ」を設置する。

2. 主な検討事項

- (1) 令和6年度からのデジタル教科書の本格的な導入の在り方
- (2) デジタル教科書やデジタル教材、関連するソフトウェアの適切な活用方法
- (3) その他